

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月8日

上場会社名 セガサミーホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6460 URL <https://www.segasammy.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長グループCEO (氏名) 里見 治紀
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員財務経理本部長 (氏名) 大脇 洋一 (TEL) 03-6864-2400
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績 (2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	221,158	47.3	39,579	313.4	42,069	242.0	23,117	140.3
2023年3月期第2四半期	150,095	11.3	9,574	△34.8	12,300	△16.6	9,619	△19.9

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 33,956百万円(113.2%) 2023年3月期第2四半期 15,924百万円(18.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	104.72	104.06
2023年3月期第2四半期	43.56	43.34

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	631,198	356,604	56.3
2023年3月期	501,566	331,347	66.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 355,263百万円 2023年3月期 330,854百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	20.00	—	39.00	59.00
2024年3月期	—	23.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	24.00	47.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	474,000	21.7	60,000	28.2	63,000	27.3	35,000	△23.8
								158.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	241,229,476株	2023年3月期	241,229,476株
2024年3月期2Q	20,430,181株	2023年3月期	20,476,041株
2024年3月期2Q	220,762,180株	2023年3月期2Q	220,825,119株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、2023年11月8日に機関投資家向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算プレゼンテーション資料については事前にT D n e t 及び当社ホームページに掲載するほか、決算説明会の模様及び説明内容(映像並びに音声)については、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	前年同期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	150,095	221,158	71,063	47.3
営業利益	9,574	39,579	30,004	313.4
経常利益	12,300	42,069	29,768	242.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	9,619	23,117	13,497	140.3
	円	円	円	%
1株当たり四半期純利益	43.56	104.72	61.16	140.4

エンタテインメントコンテンツ事業を取り巻く環境としましては、コンシューマ分野におきまして、コロナ禍における巣ごもり需要からの反動減や、インフレ等による経済環境の悪化などにより、特に欧州地域におけるコンシューマ分野を取り巻く事業環境の変化が急速に進んでいます。一方で、サービス提供形態の多様化により、デバイス・プラットフォームを問わず、全世界に向けてより長期にコンテンツ・サービスを届ける環境が整ったことから、ゲーム市場の成長に対する期待は継続しています。なお、海外においては、事業環境の変化や開発コスト上昇への対応が課題になっています。アミューズメント機器市場におきましては、コロナ禍からの経済再開により市場の回復が進んでいます。円安に起因した原材料価格の高騰はありながら、プライズカテゴリーの好調は継続し、全体としては底堅く推移しました。

遊技機業界におきましては、パチスロ機が牽引する形で良好な市場環境が継続しております。パチスロ機においては当グループの『スマスロ北斗の拳』をはじめ、スマートパチスロを中心に話題性のある機種が登場していることから、高い稼働水準を維持しております。パチンコ機においては稼働面では低調な推移となっておりますが、2023年4月よりスマートパチンコの導入が開始されたほか、規制の見直し傾向が続いていること等から、今後稼働回復に貢献する新たなヒット機種の登場が期待されます。

リゾート業界におきましては、国内においては、新型コロナウイルス感染症の分類見直しにより各種行動制限が緩和され、社会経済活動の正常化の動きが進んだことや、観光需要喚起策としての全国旅行支援策の継続も寄与したことから、旅行需要には引き続き回復傾向が見られました。インバウンドについては、日本入国時における制限解除や国際線定期便の再開も進んでいることから、大幅な回復が見られました。

このような経営環境のもと、当第2四半期連結累計期間における売上高は221,158百万円（前年同期比47.3%増）、営業利益は39,579百万円（前年同期比313.4%増）、経常利益は42,069百万円（前年同期比242.0%増）、また、欧州各拠点開発のタイトルポートフォリオの見直し等に伴う事業再編損など特別損失を9,780百万円計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は23,117百万円（前年同期比140.3%増）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりであります。

なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

《エンタテインメントコンテンツ事業》

	前年同期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
外部売上高	116,629	121,086	4,457	3.8
セグメント間売上高	149	169	—	—
売上高合計	116,779	121,256	4,477	3.8
経常利益	17,246	9,072	△8,174	△47.4

コンシューマ分野のフルゲームにおいては、新作タイトルの販売本数は166万本（前年同期は148万本）となり、リピートタイトルの販売本数は885万本（前年同期は865万本）となりました。これらの結果として、フルゲームの販売本数は全体で1,052万本（前年同期は1,014万本）となりました。F2Pにおいては、『プロジェクトセカイ カラフルステージ！ feat. 初音ミク』、及び開発は株式会社セガ、パブリッシャーは株式会社バンダイナムコエンターテインメントが担う『ONE PIECE バウンティラッシュ』が牽引しました。

アミューズメント機器分野におきましては、UFOキャッチャー® シリーズやプライズ等を中心に販売いたしました。

映像・玩具分野におきましては、映像において、劇場版『名探偵コナン 黒鉄の魚影』の配分収入等を計上したほか、玩具において、新製品『ちいかわ ゆめのむちゃでかおしゃべりプリンハウス』や定番製品を販売いたしました。

以上の結果、売上高は121,086百万円（前年同期比3.8%増）、経常利益は9,072百万円（前年同期比47.4%減）となりました。

《遊技機事業》

	前年同期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
外部売上高	27,534	93,424	65,889	239.3
セグメント間売上高	201	343	—	—
売上高合計	27,735	93,767	66,031	238.1
経常利益	2,011	39,307	37,296	—

パチスロ機におきましては、当グループのスマートパチスロ第2弾となる『スマスロ バイオハザード:ヴェンデッタ』等の販売に加え、第1四半期に発売した『スマスロ北斗の拳』の追加販売を行い、130千台の販売（前年同期は34千台の販売）となりました。パチンコ機におきましては『Pブラックラグーン4』等の販売を行い、56千台の販売（前年同期は23千台の販売）となりました。

以上の結果、売上高は93,424百万円（前年同期比239.3%増）、経常利益は39,307百万円（前年同期は経常利益2,011百万円）となりました。

《リゾート事業》

	前年同期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
外部売上高	5,649	6,057	408	7.2
セグメント間売上高	50	13	—	—
売上高合計	5,700	6,070	370	6.5
経常利益	△2,392	249	2,642	—

リゾート事業におきましては、『フェニックス・シーガイア・リゾート』において、政府や独自の観光需要喚起策が寄与したことや、個人客が堅調に推移したことに加え、国際会議や法人イベント等の大型MICEを開催し、コロナ禍で低調に推移していた団体客の回復が進みました。

海外におきましては、PARADISE SEGASAMMY Co., Ltd.（当社持分法適用関連会社）が運営する『パラダイスシティ』において、カジノでの日本人VIP客のドロップ額（チップ購入額）が新型コロナウイルス感染症拡大前を超える水準を維持する等、想定を上回る売上の回復が見られました。

※PARADISE SEGASAMMY Co., Ltd.は12月決算のため3ヶ月遅れで計上

以上の結果、売上高は6,057百万円（前年同期比7.2%増）、経常利益は249百万円（前年同期は経常損失2,392百万円）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年4月28日に公表した通期連結業績予想を修正いたしました。詳細については、2023年11月8日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	179,509	186,540
受取手形、売掛金及び契約資産	53,370	59,373
有価証券	—	17,190
商品及び製品	18,503	16,723
仕掛品	50,689	54,922
原材料及び貯蔵品	20,269	20,417
その他	31,826	32,507
貸倒引当金	△304	△1,127
流動資産合計	353,862	386,546
固定資産		
有形固定資産		
土地	18,581	18,625
その他（純額）	41,901	43,217
有形固定資産合計	60,482	61,843
無形固定資産		
のれん	2,592	72,269
その他	10,654	11,750
無形固定資産合計	13,247	84,019
投資その他の資産		
投資有価証券	39,538	51,169
その他	34,818	48,006
貸倒引当金	△383	△387
投資その他の資産合計	73,973	98,788
固定資産合計	147,703	244,652
資産合計	501,566	631,198

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,556	28,385
短期借入金	17,000	117,485
未払法人税等	4,776	5,909
賞与引当金	9,689	7,410
その他の引当金	1,375	830
資産除去債務	—	1
その他	56,934	62,459
流動負債合計	120,332	222,483
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	25,000	25,006
退職給付に係る負債	3,877	4,058
資産除去債務	2,607	2,644
解体費用引当金	420	420
その他の引当金	—	6
その他	7,981	9,975
固定負債合計	49,886	52,111
負債合計	170,218	274,594
純資産の部		
株主資本		
資本金	29,953	29,953
資本剰余金	72,213	71,183
利益剰余金	261,840	276,348
自己株式	△37,251	△37,147
株主資本合計	326,755	340,337
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,626	3,686
繰延ヘッジ損益	382	△3
土地再評価差額金	△1,109	△1,109
為替換算調整勘定	3,730	13,972
退職給付に係る調整累計額	△1,531	△1,619
その他の包括利益累計額合計	4,099	14,926
新株予約権	468	612
非支配株主持分	24	728
純資産合計	331,347	356,604
負債純資産合計	501,566	631,198

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	150,095	221,158
売上原価	91,283	120,131
売上総利益	58,812	101,026
販売費及び一般管理費	49,237	61,447
営業利益	9,574	39,579
営業外収益		
受取利息	89	739
受取配当金	481	59
持分法による投資利益	—	1,167
投資事業組合運用益	1,098	781
為替差益	2,942	520
その他	330	390
営業外収益合計	4,942	3,659
営業外費用		
支払利息	152	229
持分法による投資損失	1,360	—
支払手数料	55	250
投資事業組合運用損	458	467
その他	188	222
営業外費用合計	2,216	1,169
経常利益	12,300	42,069
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	71
事業譲渡益	—	155
その他	—	0
特別利益合計	0	228
特別損失		
固定資産売却損	0	0
減損損失	96	94
関係会社株式売却損	96	49
事業再編損	—	9,500
火災損失	80	—
その他	7	135
特別損失合計	281	9,780
税金等調整前四半期純利益	12,019	32,516
法人税、住民税及び事業税	2,258	8,665
法人税等調整額	133	715
法人税等合計	2,391	9,380
四半期純利益	9,627	23,135
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,619	23,117
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	18

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△487	1,059
繰延ヘッジ損益	7	—
為替換算調整勘定	4,769	8,241
退職給付に係る調整額	△15	△97
持分法適用会社に対する持分相当額	2,023	1,616
その他の包括利益合計	6,297	10,820
四半期包括利益	15,924	33,956
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,912	33,944
非支配株主に係る四半期包括利益	12	12

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			計	調整額 (注)	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額
	エンタテインメン トコンテンツ事業	遊技機事業	リゾート事業			
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	116,629	27,534	5,649	149,812	282	150,095
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	149	201	50	402	△402	—
計	116,779	27,735	5,700	150,214	△119	150,095
セグメント利益又は損失(△)	17,246	2,011	△2,392	16,865	△4,564	12,300

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△4,564百万円には、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,565百万円が含まれております。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			計	調整額 (注)	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額
	エンタテインメン トコンテンツ事業	遊技機事業	リゾート事業			
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	121,086	93,424	6,057	220,568	589	221,158
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	169	343	13	526	△526	—
計	121,256	93,767	6,070	221,095	63	221,158
セグメント利益又は損失(△)	9,072	39,307	249	48,629	△6,560	42,069

(注) 1 外部顧客に対する売上高の調整額589百万円は、報告セグメントに帰属しない事業に係る売上高であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△6,560百万円には、報告セグメントに帰属しない事業に係る損失△421百万円、セグメント間取引消去1百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△6,139百万円が含まれております。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益と調整を行っております。